「鶴岡駅前活性化委員会」の結成～通年で楽しめる駅前～

「活性化委員会」概要

①鶴岡市民の目線「普段使いできる駅前」

→鶴岡駅利用者数のうち、定期利用者は７割。
(JR 東日本調べ)

→駅前活性化事業には市民の協力が不可欠。

②地元の高校生の参加「地元への愛着」

→これまでに駅の活性化事業への取り組みあり

→地元を引っ張っていく中核に位置づける。

③鶴岡に「惹かれた者」たちの参加

→我々大東文化大学社会学部を始め、鶴岡との交流・関係人口を増やすこと(呼び水)へ。

→ヨソ者の目線、観光者としての目線から、一緒にアイデアを考えていく

④行政・地元企業・関係企業との連携

「鶴岡」を基に作られたネットワークが、駅前を活性する力へと転換していくかも……!?

駅前でのイベント開催を目標に

とにかく広い鶴岡市。

どこに行くか迷っちゃうし、移動が大変……。

玄関となる「鶴岡駅前」で色々楽しめれば……!

鶴岡駅前を活かしてイベントを開催!!

①出張加茂水族館

～クラゲで有名な加茂水族館を PR！～

②駅前でのイルミネーション

～藤島歴史公園でのイベントとリンク～

③食文化都市「つるおか」Parade

～駅前で楽しめる鶴岡の食の宝箱～

駅前通りの道を使って露店を出店。

駅前から鶴岡市街地まで続く「食の Parade」へ

④運営は駅前活性化委員会で協議&継続！

市民の声を取り入れていきます。

なぜ、実行委員会なのか？

COG に参加している我々のなかにも、高校時代に地元の課題解決という「総合的学習」の時間が設けられ、地元を活性化するためのアイデアを提案するという経験をしたメンバーがいる。そのなかで、「高校生だけでは提案だけで終わってしまって実施までおこなうことができなかったことが悔やまれる」という意見が上がった。

現在大学生となり、ゼミナールの活動を通して、場所は違えどご縁があった「鶴岡市」での活性化事業をおこなうにあたっては、地元の高校生のアイデアや地元の人々の意見反映が最も重要であると考えている。我々、東京の大学生の役割は、「ヨソ者」としての一歩引いた目線であると思う。ゆえに、実行委員会制度を敷き、様々な「鶴岡に惹かれ合う運命」を感じた者たちが同じ委員会として協働し、様々な意見を交流させながら、一緒に街を作り上げていく必要があるだろうと感じた。

高校生の力で駅前を活性化

「鶴お菓子まつり」開催

「鶴お菓子甲子園」の様子(2018年)

県立鶴岡南高等学校（石川高校長）と鶴岡駅前商店街

鶴岡組合（山之内組理事長）は、高校生の発想力で駅前を活性化を図るイベント「第2回鶴お菓子まつり」を月23日、鶴岡駅前の「つるおか食文化市場ＯＯＤＥＫＩＴＥＮ」とともに企画。

「マリカ広場」で開催する。

自ら課題を設定・探求していく「鶴南ゼミ」の中で、駅前の活性化をテーマに選んだ2年生16人が中心となり、商店街活性化事業部、地元の菓子メーカーとともに企画した。

イベントは午前10時スタート。マリカ広場ステージでは、地元ダンスチームやフォーマンスを披露。ＯＯＤＥＫＩＴＥＮ内では、来場者とともにお菓子クイズを行うコーナーをはじめ、地元観光や高校の美術展、写真展による「ギャラリー展」がある。

「鶴岡駅探検」は午前10時から午後2時、駅前エリアを巡りながら、鶴岡や駅前に関するクイズに挑戦してもらう。

午後2時からはマリカ広場で、鶴お菓子甲子園を開催。鶴岡北、鶴岡工業、鶴岡中央、鶴岡南から3チームが出場する。鶴岡中央からは2チーム。地元菓子店の協力のもと、庄内の食材を使って作ったオリジナルスイーツを発表しプレゼンテーション。来場者による試食と投票で順位を決める。全菓子試食会投票のチケットは当日午前から会場で販売する。一般800円、高校生以下550円。

イベントは入場無料。問い合わせは鶴岡南高校0235-22-0061＝佐藤教諭へ。

写真は「鶴お菓子まつり」を取り上げた鶴岡タイムズの記事である。この鶴岡市には、地元を考える高校生たちと、それを支える大人という協働が既にある。ここに更に我々のようなヨソ者が参加していくことで、更なる発展が見込まれるのではないかと思う。

実施計画について

初年度 (Plan)

- 実施主体となる委員会の結成
- 具体的なイベントスケジュールの策定
- 関係企業へのヒアリング、市民へのヒアリング及び周知
- 実施に伴う、資金調達・モノの準備など

次年度 (Do)

- 駅前の整備
- 駅前商店街との連携をしながら「プロジェクト」開始
- イベント実施(春・夏・秋を中心に)
- 定期的な実行委員の募集、イベントの周知(SNS等)

3年目以降 (Check & Act)

- 継続して実施できる体制づくり（関係する人々の拡大）
- イベント見直し、意見の積極的な反映、関係企業へのヒア継続
- イベント開催実施、駅前の整備

市民＋学校(高校&大学生)＋行政

市役所の視点 × 市民の視点・商店街を使う人々の視点 × ヨソ者(関係人口となる層)の視点から、

「恒常的に使う人々が使いやすい駅前」 &「ビジネスや観光できた人達がまた来たいと思う駅前」をデザインしていく!!